

海洋理工学会平成23年度秋季大会プログラム

10月17日(月)

学会賞受賞記念講演

- 10:30-11:00 H1 [堀田記念奨励賞] 海洋炭素循環モデルを用いた深層域における動物プランクトン現
存量の評価 茂木博匡(水研センター日本海水研)
- 11:00-11:30 H2 [業績賞] 深海巡航探査機「うらしま」の誕生から実用化まで
月岡 哲(海洋研究開発機構)

11:30-13:00 昼休み

シンポジウム 「福島第一原子力発電所事故による海域の放射能拡散」

- 13:00-13:10 主旨説明 中田喜三郎(海洋理工学会会長)
- 13:10-13:50 S1 福島第一原発事故による海洋汚染とその影響について
青野辰雄(放射線医学総合研究所)
- 13:50-14:30 S2 東北地方太平洋沖地震直後の三陸沖、福島第一原子力発電所沖の水温、塩分、海流観
測結果 落合 健(海上自衛隊)
- 14:30-15:10 S3 福島沖海域モニタリングについて 河野 健(海洋研究開発機構)
- 15:10-15:30 休憩
- 15:30-16:10 S4 福島沖の海洋拡散シミュレーション 津旨大輔(電力中央研究所)
- 16:10-16:50 S5 水圏環境における放射性核種移行モデルへの生態系の導入-汽水湖尾駁沼における放
射性ヨウ素移行を対象としたケース- 植田真司(環境科学技術研究所)
- 16:50-17:30 総合討論
- 17:30-19:00 イブニングセッション(カンフォーラ)

10月18日(火)

10:20-11:40 一般講演1「メタンハイドレート・生態系モデル」 座長 中田喜三郎(名城大)

- A01 メタンハイドレート開発においてメタン等が海洋生物に与える影響の評価
平田敦洋、畠山孝(エンジニアリング協会)、鋤崎俊二・鈴木信也(日本海洋生物研究所)、
荒田直(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
- A02 メタンハイドレート生産水の放出影響について
石原靖文、眞岩一幸(日本エヌ・ユー・エス)、平田敦洋、畠山孝(エンジニアリング協会)、
矢部いつか(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
- A03 深海域から漏洩したメタンガスの挙動を予測するモデル(MEGADEEP)の開発
鋤崎俊二、江里口知己(日本海洋生物研究所)、中田喜三郎(名城大学)、
平田敦洋(エンジニアリング協会)、荒田直(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
- A04 東京湾におけるデカブロモジフェニルエーテルの生態リスク
大野創介、恒見清孝、川本朱美、石川百合子、堀口文男(産総研)

11:40-13:00 昼休み

13:00-14:40 一般講演 2「沿岸環境」

座長 植田 真司 (環境科学技術研究所)

- A05 インドの海洋観測衛星 Oceansat-2 搭載マイクロ波散乱計で観測された海上風ベクトルの精度評価
江淵直人 (北大低温研)
- A06 実験水槽におけるクロロフィル-aの変動解析
畑 恭子(いであ)
- A07 東日本大震災後の釜石周辺の沿岸域環境に関する調査研究
山本光夫、北澤大輔、加藤孝義、小松田真二、多部田茂 (東京大)
- A08 無人観測艇による福島沖海洋表層モニタリング計画
千賀康弘 (東海大海洋)
- A09 海中騒音とジュゴンの鳴音
溝端紀子 (京大院)、市川光太郎 (地球研)、荒井修亮 (京大院)、加藤秀弘 (東京海洋大)

14:40-14:50 休憩

14:50-16:30 一般講演 3「機器開発」 座長 月岡 哲 (海洋研究開発機構)

- A10 魚類用高精度バイオテレメトリーシステムの開発
新家富雄、鴨志田隆 (SIT)、市川光太郎 (地球研)、三田村啓理、荒井修亮 (京大院)
- A11 海底地震計用耐圧容器 (ガラス球)の貫通孔周辺に発生したクラックの原因究明
前田洋作、佃薫、寺田育正、白井太郎、小松和香、西條暁里 (日本海洋事業)、
伊藤誠 (海洋研究開発機構)
- A12 深海探査機用無線通信装置の開発
菅澤 誠 (海洋研究開発機構)
- A13 慣性航法装置の小型・高性能化
石橋正二郎 (海洋研究開発機構)
- A14 レーザーによる海中精密距離測定を試み
吉田弘、石橋正二郎 (海洋研究開発機構)、齋藤隆、岡本章吾、出納基、箱山孝司、
鈴木稔 (三菱電機特機システム)